

明日を拓く交流のまち

～交通基盤のネットワーク化により、交流が拡大するまちへ～



日本海沿岸東北自動車道

6 施策の大綱

第7章

明日を拓く交流のまち

～交通基盤のネットワーク化により、交流が拡大するまちへ～

均衡ある発展を目指し、多極分散型の国土形成が進められてきましたが、依然として一極一軸型の国土構造^{※52}が続いています。全国的な人口減少と高齢化の中で、地域の自立的発展を可能とする国土の形成が求められています。また、東アジア諸国との交流が進む中で、多様な地域特性を発揮した国際的な連携が重要となっています。

活力ある経済と地域の自立的発展、国内外の交流と経済活動の拡大を図るため、酒田港、庄内空港、高速道路、鉄道といった交通基盤の整備促進により、総合的な交通基盤のネットワーク化を図ります。

※52 一極一軸型の国土構造
東京を頂点とする太平洋ベルト地帯に人口や諸機能が集中している国土の様。

第1節 世界に拡がる国際公益拠点港の整備 ——— 90

第2節 地域活力を高める高速交通網の整備 ——— 92

第3節 生活基盤となる交通ネットワークの整備 ——— 94

世界に拡がる国際公益拠点港の整備

施策の方針

重要港湾である酒田港の貨物量の増大を図るために、内貿航路の誘致、新規国際航路の開拓やポートセールス活動を官民一体となって推進するとともに、荷主にとって利用しやすい港湾となるよう機能の充実に努めます。今後、交流活動が拡大する東アジア地域、特に北東アジア地域と東北地方を結ぶ日本海側のゲートウェイの形成を目指します。

施 策

(1) 酒田港の機能充実



国際ターミナル

※53 プレジャーボート
モーターボート、ヨットなど、海洋レクリエーションに使用される小型船舶の総称。

※54 ストックヤード
一時的保管場所。

酒田港は、リサイクルポートに指定され、リサイクル関連企業の立地が進みました。北港地区の未利用地や既存ストックを活用し、環境保全型産業の集積を図るために、循環資源を専用に扱う岸壁の整備を促進します。また、企業の要請に柔軟に対応できる工業用地の確保と地域の産業を支える物流機能を確保することが必要となっています。分散している物流機能の集約や適切な規模の埠頭用地の確保により貨物取り扱い能力の強化を図ります。

港湾における快適な親水空間の確保と港内に放置されているプレジャーボート^{※53}の集約を図るほか、海洋性レクリエーション機能の充実を図ります。

大規模地震発生時における緊急物資の輸送や地域住民等の安全確保を目的とした防災機能を強化する耐震強化岸壁の整備、津波による災害を防ぐための外郭施設（防波堤）の整備を促進します。

①リサイクルポート機能の充実

- ・リサイクル関連企業の誘致、集積
- ・循環資源を中心に取り扱う岸壁の整備促進
- ・循環資源ストックヤード^{※54}の整備促進
- ・庄内リサイクル産業情報センターの構築
- ・新エネルギー開発と供給基地の実現

②物流機能の充実

- ・外郭施設の整備促進（静穩度対策）
- ・臨港道路の整備促進
- ・内貿ユニット貨物に対応した岸壁の整備促進
- ・大型岸壁の整備促進

※55 みなとオアシス
海浜・旅客船ターミナル、広場など港の施設やスペースを活用し、住民によって地域振興に係わる継続的な取り組みが行われる地域交流拠点施設及び地区。

(2) 酒田港の利用促進



多くの観光客で賑わう、さかた海鮮市場

③親水空間機能の充実

- ・親水空間の整備拡充
- ・景観形成ゾーンの設定
- ・「みなとオアシス※55」を活用した機能拡充
- ・寄港船への対応機能の拡充
- ・プレジャーボートスポットの拡充



親水空間の整備が進む酒田港（みなとオアシス）

④防災機能の充実

- ・耐震強化岸壁の整備促進
- ・外郭施設の整備促進（津波対策）
- ・緑地の整備促進（防災対応機能）

酒田港は、臨海部に立地している化学、石油製品関連企業や木材加工企業等の地域産業の安定的な生産活動を支える拠点、さらに、県内経済と暮らしを支える物流拠点として、地域経済を牽引する役割を担っています。北東アジア地域と東北地方を結ぶ日本海側のゲートウェイとして、質の高い港湾サービスの提供、国際輸送ルートの拡充と交流の促進を図ります。

本港地区周辺が「みなとオアシス」に認定されたことから、親しみを持つてウォーターフロントとしての整備を推進するとともに、良好な港湾景観の形成を促進します。より多くの市民が海や港に関心を持ち、参加できるようイベントの充実を図ります。

①物流ルートの拡充と貿易拡大

- ・ポートセールス活動の強化
- ・釜山定期コンテナ航路の拡充
- ・東方水上シルクロードの拡充
- ・新規航路の開設
- ・荷役作業および通関、入出港等に関する手続きの利便性の向上
- ・リサイクルポート間の連携強化

②親水空間としての活用

- ・「みなとオアシス」における賑わい創出
- ・海浜を活用した総合学習の推進

第2節

地域活力を高める高速交通網の整備

施策の方針

高速道路、空港、鉄道といった高速交通網は、国内各都市や海外との交流と連携、地域の経済活動の発展に必要不可欠です。地域の経済や文化、交流活動を活発に行い、地域の発展を促進するため、全国のネットワークにつながる高速交通網の整備を促進します。

施 策

(1) 高速道路等の整備促進

県内各都市をはじめ、新潟市、秋田市、仙台市、石巻市など隣県各都市との連携を強化するため、日本海沿岸東北自動車道の県境区間の整備、東北横断自動車道酒田線の未整備区間の早期着工を促進します。また、地域高規格道路新庄酒田道路の整備を促進するとともに、市内交通の円滑化と酒田港等へのアクセス向上のため、地域高規格道路と高速道路の相互乗り入れが可能となるインターチェンジの設置を促進します。

- ①日本海沿岸東北自動車道の早期完成
- ②東北横断自動車道酒田線の整備促進
- ③地域高規格道路新庄酒田道路の早期完成
- ④地域高規格道路と高速道路との接続
- ⑤高速道路の利用促進



整備が進む余目酒田道路

(2) 交流拠点となる 庄内空港の整備



庄内空港フェスタ

庄内空港は首都圏をはじめ全国、海外と庄内地域を結ぶ交流と物流拠点として、地域の産業や文化の発展に大きな役割を果たしています。国内線の更なる利便性の向上を目指すとともに、各路線の運航拡充および新規国内路線の開拓を図ります。また、増便や新規路線開設に対応した関連施設（駐車場、搭乗待合室等）の整備を促進します。

友好県省の盟約を締結している中国黒龍江省をはじめ、対岸諸国との交流が活発化する中で、庄内空港への期待が高まっていることから、国際線の開設を目指します。

① 国内線の運航拡大と利用促進

- ・新規路線の開拓
- ・既存路線の拡充と利用拡大

② 空港機能の充実

- ・増便等に対応した関連施設の拡充

③ 国際化への対応

- ・国際定期路線の誘致

(3) 地域間交流を活発化 する鉄道の整備

東京をはじめとする全国へのアクセス向上と日本海沿岸や県内各都市との連携促進により地域を発展させるため、山形新幹線庄内延伸、羽越本線高速化を促進します。また、在来線については、通学通勤等、市民の生活交通として時間短縮や接続などによる利便性の向上に取り組みます。

① 山形新幹線庄内延伸の実現

② 羽越本線高速化の促進

③ 在来線の機能強化

第3節

生活基盤となる交通ネットワークの整備

施策の方針

安全で快適な交通環境と市民生活の利便性を高めるため、社会基盤の充実を図るとともに、総合的な交通ネットワークを整備することにより、地域内交通の円滑化を推進します。



出羽大橋(完成イメージ)

施 策

(1) 道路交通網の整備充実



宮野浦坂野辺新田線

市内外を結ぶ幹線道路は、都市の骨格を形成するとともに、隣接市町との交流や高速交通網へのアクセス向上に効果を發揮し、市民生活の利便性向上に重要な役割を果たしています。このため、国県道の整備を促進し、利便性の高い道路ネットワークの形成を図ります。

また、快適な市民生活の確保と活力に満ちた経済社会を実現するため、安全かつ円滑な道路環境の整備を進めます。さらに、生活道路の整備、狭小幅員道路の改良を推進します。

①国県道の整備とネットワーク化の促進

- ・国道の整備促進
- ・県道の整備促進
- ・都市計画道路の整備促進
- ・合併支援道路の整備促進

②市道の整備推進

- ・都市計画道路の整備
- ・生活道路の整備
- ・狭小幅員道路の改良



喜びあふれる開通式

(2) 市民交通の充実



福祉乗合バス

※56 デマンドバス

無線通信による利用者の呼び出しに応じて、一定地域内を不定期に運行する小型バス。

公共交通機関である路線バスは、通勤、通学や交通弱者等の貴重な交通手段となっており、福祉乗合バスへの期待も高まっています。道路運送法の改正により、デマンドバス^{※56}や乗合タクシーなどが「乗合事業」として許可され、サービス提供が可能となり、NPO法人も福祉目的の有償運送を行うことができるようになりました。福祉乗合バスの効率的な運行を推進するとともにバス事業者、タクシー業者、NPO法人、行政が協調して、それぞれの役割を明確化し、地域のニーズに対応します。

①バス路線の充実

- ・民間バス事業者への支援
- ・福祉乗合バスの効率的な運行推進
- ・デマンドタクシー等新たな交通システムの検討